

暖温二帯の樹木

北條慎一（恵那市大井町 2710-139）

Shin-ichi Kitajo: Some trees found in Ena district

ここでいう暖温二帯の位置とは、JR 東海中央線の恵那駅（海拔 268m）、中津川駅（海拔 298）、坂下駅（海拔 326.6m）、南木曽駅（海拔 437.2m）の間に位置する恵那市、中津川市、恵那郡坂下町、そして長野県木曽郡山口村と南木曽町までの地域を指す。

恵那市より見た山脈と水脈

東に恵那山（海拔 2128m）、北東に奥山界（1811m）、小秀山（1982m）、そして中央アルプス、北に御岳山（3063m）、西に笠置山（1128m）があり、山や谷の多い山地帯である。水脈は長野県鳥居峠に源を発する木曽川で、中央アルプスの冷水を含み、木曽郡南木曽町で男滝・女滝から雄雄沢へ、そして男垂滝から木曽川へ、南木曽町田立の滝はそのまま木曽川へ、岐阜県坂下町で川上川が木曽川に合流し、恵那山や富士見台からの谷川は落合川となり木曽川へ、また中津川市で恵那山黒井沢に源を発する谷川は中津川となって木曽川へ、付知町の溪谷に源を発する付知川は福岡町を貫通して木曽川へ、阿木連山に源を発する阿木川は岩村川を含み、恵那市街を通り大井ダムの下で木曽川と合流する。

暖温二帯の樹木

上記の恵那市及び中津川市周辺地域で確認される暖温二帯の代表的な樹木には次のような

ものがあるが、開花順に紹介してみたい。

マンサク（2月中旬～3月に開花）、ハナノキ（3月下旬から4月、長野、愛知、岐阜県境附近に産する）、シデコブシ（4月上旬、長野、愛知、岐阜県境附近に産する）、タムシバ（4月上旬）、ミツバツツジ（3月下旬～4月上旬）、コバノミツバツツジ（4月～5月）、ヒサカキ（3月～4月）、サカキ（自生あり）、アセビ（3月～4月）、クロマツ（4月、恵那に自生あり）、アラカシ（4月～5月）、シラカシ（4月～5月）、アカガシ（5月）、ツクバネガシ、ウラジロガシ、アベマキ（5月）、シャクナゲ（4月～5月）、ヒカゲツツジ（4月～5月）、アカマツ（4月～5月）、ケヤキ（4月～5月）、コナラ（5月）、ミズナラ（5月）、モチツツジ（5月）、サルマメ（5月）、シラカバ、ダケカンバ（6月～）、ヘビノボラズ（5月～6月）、テイカカズラ（5月～6月）、シュロ（5月～6月、木曽郡山口村まで北上）、ベニドウダンツツジ（5月～6月）、ヒトツバタゴ（5月下旬、長野、愛知、岐阜県境附近に産する）、ミヤマホツツジ（5月～6月）、イボタノキ（6月）、ナツツバキ（6月～7月）、イソノキ（6月～7月）、コアジサイ（6月～7月）、タマジサイ（6月～7月）、ヤブコウジ（7月～8月）、キツタ（10月～11月）、コウヤボウキ（9月～10月）、ヒイラギ（11月～12月、中津川阿木に自生）。